

2018年 障害者週間シンポジウム だれもが暮らしやすい小金井に ～障害者差別解消条例をきっかけに 変えていこう～

どのような人たちが多数を占めているかによって、まちづくり、コミュニケーションやルールなどが作られています。そのために少数派といわれる人たちが暮らしにくくなっているかもしれません。

誰もが暮らしやすいまちとはどのようなまちでしょう。一緒に考えてみませんか？

【日 時】2018年12月8日（土）

午前10時～12時

【場 所】小金井宮地楽器ホール 1階小ホール

【参加費】無 料

【定 員】100名 事前予約不要

※会場の都合上入場を制限する場合があります。

【その他】保育あり 手話通訳あり

※保育は11/16までに下記問合せ先へ

【内 容】第1部 講演会

テーマ「誰もが暮らしやすいまちを考える（仮）」

講師 野沢 和弘氏

（元千葉県障害者差別をなくすための研究会座長）

第2部 市民を交えたパネルディスカッション（予定）

野沢和弘氏プロフィール 毎日新聞論説委員。1959年静岡県出身。早稲田大学法学部卒業。毎日新聞入社。津支局、中部報道部、東京社会部。薬害エイズ取材班、児童虐待取材班などを担当。科学環境部副部長、社会部副部長を経て、2007年5月から夕刊編集部長を経て、2009年4月から現職。社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、植草学園大学客員教授、東京大学非常勤講師、上智大学非常勤講師など。主な著書に「障害者のリアルx東大生のリアル」（ぶどう社）「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「条例のある街」（ぶどう社）など

【主催】小金井市地域自立支援協議会 【共催】小金井市障害者週間実行委員会

【問合せ・事務局】 小金井市福祉保健部自立生活支援課 TEL042-387-9848 ファクス 042-384-2524